

米山奨学生 オリエンテーション報告

米山奨学委員会 委員

口野 孝 (大阪東RC)



日 時：2014年4月8日(火)

会 場：ヴィアール大阪

参加者：泉ガバナーエレクト、若林地区米山奨学部門顧問、立野ガバナーノミニ一、磯田地区研修委員、西谷地区米山奨学委員会委員長、近藤地区米山奨学委員会副委員長、福田地区米山奨学委員会副委員長、地区委員、米山学友、新規米山奨学生、世話クラブ米山委員長、カウンセラー、次年度米山奨学委員会委員、西本地区青少年活動委員長、西垣ライラ実行委員長 他

本年度の米山奨学生として選考委員会に合格した奨学生を対象に、新年度最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。最初に、若林米山奨学部門顧問による開会の挨拶がありました。皆さんは、3倍近い競争の中から選ばれた優秀な奨学生であり、米山奨学の理念である勉学に勤しみ、そして日本を理解し、母国との関係がより一層良化され、引いては世界の平和に貢献できる人材に成長して頂きたいとお話があり、続いて各テーブルごとに、世話クラブの紹介と奨学生の自己紹介等があり、その後、各クラブを経由して委員会へ提出する確約書の作成をして正式に米山奨学生として誕生しました。

続いて、西谷委員長から奨学生に対し、本年度は25名の新奨学生と継続の12名合計37名の奨学生が本年度の支援をさせていただきます、皆さんは米山奨学会の心得、米山奨学会の意義、そして将来のロータリアンとして世界平和に貢献して貰いたいとお話と、この奨学金はロータリアン1人1人が自分のポケットマネーから寄付しているのであり、良く理解し有効に役立ててもらいたいとお話がありました。その後地区青少年活動委員会からRYLAのお知らせがあり、質疑応答の後、第一部

は終了し、会場を移動し、第2部のオリエンテーションのスタートです。

第2部は、泉ガバナーエレクトの発声による乾杯でスタート、米山記念奨学事業の意味、米山は日本独自の組織であり、日本の中の34地区が支援をしており、民間では日本最大の奨学生支援制度であり、米山梅吉さんは、平和日本を世界への、信念でいろんな分野に寄付をして貢献されているとお話があり、その後いよいよ、懇親会が始まりました。お寿司、おそば、洋食の数々とアルコールも入りそれぞれのテーブルで話が盛り上がり、奨学生も緊張から解放され、お世話役の各クラブのカウンセラーの皆さんと打ち解けられ会場も最高潮の盛り上がりになりました。

続いて、奨学生の自己紹介並びに将来への抱負、希望等の発表が力強くなされました。新入生の発表が一通り終了後は飛び入りで、継続生が1人ずつ壇上で経験談を話しておりました。

その後、米山奨学生学友会会長、何玉翠氏より学友会の説明と勧誘の説明があり、最後に近藤副委員長からの閉会のあいさつでオリエンテーションが無事終了となりました。

